

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	機能訓練2
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書は「リハビリテーション医学」を持参する。その項目ごとに資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	塚本 哲也			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師
学習目的					
リハビリテーション領域は患者の持つあらゆる障害に対し総合的に対処していくものであるから、医師だけでなく多くの医療専門職と力を合わせて行っていかなければならない。これに関与する医療専門職はリハビリテーション領域への理解を深め、その知識と技術を習得していくことが重要である。柔道整復師は介護保険法に基づき老人介護施設において機能訓練指導員としての活動が許されている。この科目は、介護を要する高齢者の心身機能の回復に従事する者にとっては必須の知識であり、これにより高齢者の身体機能を理解し国民の健康保持に寄与することのできる人材を育成することが学びの目的としている。					
到達目標					
機能訓練指導員とは、日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う能力を有する者であり、通所介護事業などで利用者への機能訓練を行うことで、能力の維持向上をはかることが活動の主体となる。要介護状態となる原因にて多い「転倒・骨折」と柔道整復師との関連は強く、また、各種の関節の痛みに対しても習熟しているため介護保険における重要性が高まっている。この科目では、高齢者の身体特性と慢性疾患・既往症・合併症ならびに機能訓練に必要なリハビリテーション知識と装具などの実際について理解することで高齢者福祉に貢献する人材を育成することを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	この授業は、教科書を中心に実際の装具を用いた使用方法などの説明も含めて、学生が想像しやすい、より現場に近い内容で進めるものである。理学療法・作業療法・言語治療ならびに高齢者福祉についても理解を深める。多くの高齢者が要介護状態となることを予防して健康保持増進に努めることができるための学びに重点を置く。				
注意点	この授業では、国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な応対ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の1以上欠席した者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	リハビリテーションの実際①		脳卒中の分類・特徴・障害について理解する		
2回	リハビリテーションの実際②		脳卒中のリハビリテーション（急性期や回復期）について理解する		
3回	リハビリテーションの実際③		脊髄損傷の概念・病態と評価法・合併症と対策・リハビリテーションなどについて理解する		
4回	リハビリテーションの実際④		小児疾患（脳性麻痺・二分脊椎など）のリハビリテーションについて理解する		
5回	リハビリテーションの実際⑤		切断・末梢神経損傷のリハビリテーションについて理解する		
6回	リハビリテーションの実際⑥		関節リウマチの診断・治療・評価・リハビリテーションについて理解する		
7回	リハビリテーションの実際⑦		整形外科疾患（腰痛・頸肩腕痛などの運動器疾患）のリハビリテーションについて理解する		
8回	後期7週までの振り返りと確認演習		1回～7回までの知識が蓄積されているか確認する		
9回	リハビリテーションの実際⑧		心疾患の概念・評価・リハビリテーションについて理解する		
10回	リハビリテーションの実際⑨		呼吸器疾患における障害の種類（閉塞性・拘束性換気障害）について理解する		
11回	リハビリテーションの実際⑩		呼吸器疾患のリハビリテーション（肺理学療法・運動療法・酸素吸入療法など）について理解する		
12回	リハビリテーションの実際⑪		老人とその疾患の特徴ならびにリハビリテーションの特徴・問題点（寝たきりなど）について理解する		
13回	リハビリテーションと福祉		関係法規と福祉用具の選定（カタログから考える）について理解する		
14回	後期13週までの振り返りと確認演習		9回～13回までの知識が蓄積されているか確認する		
15回	まとめ		半期で取得した知識の確認		